

オンデマンド交通協議会 について

協議会事務局
順風路 株式会社
吉富 広三

目的

- 高齢者の移動手段の確保が重要課題。
- 自治体、地域住民、運行事業者が一体のなった地域に適した交通ネットワークの形成が必要。
- 高齢化に伴う医療費の増加への対応として、高齢者の健康寿命延伸のために外出機会と移動手段の確保が肝要。
- 本協議会は高齢者等の交通弱者の行動に適合するよう開発されたオンデマンド交通を適切に活用するため技術情報の集約を行い、オンデマンド交通の普及と発展を進めることを目的。

実施内容

- ① オンデマンド交通勉強会(仮)またはオンデマンド交通カンファレンス(仮)
 - オンデマンド交通の展開に関与する団体・関係者により、オンデマンド交通をどう使えば良いのか
 - システム、公共交通計画、事業・実務をどう連携させれば良いのかなど
 - オンデマンド交通の活用に関する情報交換、議論。
- ② 情報交換サイトの構築運営
 - 自治体担当者間で常時利用できる情報交換の場を設置
 - 知識、知恵の共有を計ることが目的。
- ③ 評議会(事務局会議)
随時(年1回以上、メール会議等併用)
 - オンデマンド協議会の活動に関する協議、協議会参加者の参加可否判断等を行う。

組織構成

- (1) 協議会会長
稗方 和夫 東京大学大学院環境学研究系 准教授
- (2) 役員
 - 田中 敏久 東京大学 生産技術研究所 先進モビリティ研究センター
 - 須田 義大 東京大学 生産技術研究所
 - 桑原 雅夫 東北大学大学院 情報科学研究科
 - 中村 文彦 横浜国立大学 理事(国際・広報担当)・副学長
 - 飯嶋 喜志男 甲州市役所 市民課課長
- (3) 構成員 (括弧内は現在の参加者数)
 - ① オンデマンド交通普及関係者
交通・都市系学識経験者 (5団体)
オンデマンド交通システム会社
交通系コンサルタントなど
 - ② オンデマンド交通システム利用者
地方自治体 (29団体)
輸送事業者など